

長期欠席・不登校児童生徒に関するアセスメントシート(中学校)【例】

取扱注意

作成者 ○○ ○○

(西暦) 2019年11月25日作成

学年	組	生徒氏名			出身小学校等			性別	生年月日	
1	1	●●●●			○○小学校			男	○○年○月○日	
		中3	中1	小6	小5	小4	小3	小2	小1	就学前
担任			○○ ○○	○○ ○○	○○ ○○	○○ ○○	○○ ○○	○○ ○○	○○ ○○	
欠席			15	12	5	6	5	5	5	
遅刻			20	7	3	3	0	1	0	
早退			12	8	4	2	3	0	1	
保健室			18							
別室										
教育支援センター										
分類(※)			C							
状態評価			状態1	状態0	状態0	状態0	状態0	状態0	状態0	

※長期欠席(30日以上)の欠席の場合、理由を記号で記入【A:病気 B:経済的理由 C:不登校 D:その他】、欠席が30日をこえていない場合は空欄

関わりの深い教職員 ○○ ○○ ○○ ○○ ○○ ○○

◎保護者
 両親 母子家庭 父子家庭 その他()
 ◎保護者の不登校・通院歴
 あり() なし
 ◎兄弟姉妹の不登校経験の有無
 あり(姉 中学校3年生 弟 小学校5年生) なし
 ◎経済的状況
 要保護家庭 準要保護家庭 その他(父親の離職(12/20追記))
 ◎子育ての状況
 虐待の通告 ネグレクト ネグレクト傾向 過干渉 その他()
 ◎保護者の協力度
 取れない 取りにくい 普通 協力的 その他()
 家庭環境 ※夫婦関係、学校との窓口、経済面、心理面、健康面、虐待(ネグレクト等、またその期間)
 父親と母親とで子育てに対する思いにズレが生じている。母親は学校に協力的で、登校支援をしている。経済面は安定しており、虐待は見られない。
 ◎関わり
 担任 担任以外の教職員(不登校対策担当者) 教育支援センター職員
 スクールカウンセラー(SC) スクールソーシャルワーカー(SSW) 医療関係者
 児童相談所員 市町村保健福祉部関係者 保健所員
 不登校親の会 その他()
 関係機関の担当者・関わり具合 関係する制度
 SCと母親が○月○日に面談。次回は、○月○日に面談予定。
 ◎地域環境 ※地域特性、家族(祖父母等)が地域においてどんな存在か、本人や家庭を支えてくれている人がいるか等

◎欠席のきっかけ・理由
 病気・身体の不調 家庭環境(生活習慣の乱れ) 友人関係の問題 いじめ等
 学業上の問題 学校環境の変化(クラス替え・班替え等) その他() 不明
 ◎現在の登校への意欲
 積極的 普通 消極的 なし
 ◎生活・心理・健康面
 生活リズムの乱れ(昼夜逆転、メディア依存等) 食事習慣の乱れ(朝・夕) 服装の問題(清潔度等) その他(具体的に) 夜寝られず、起きてることがあり、昼夜逆転していることもある。朝食は一人で食事を取ることが多く、偏食も激しい。夕飯は、家族で食事をしている。
 ◎健康・発育
 喘息 起立性調節障害 その他の慢性疾患() 障害(知的・身体)
 チック その他() 服薬あり()
 ◎発達(気になること)
 聞く・話す・読む・書く・計算する・推論する 不注意・多動 衝動性 対人関係
 感覚過敏、偏食 その他()
 ◎本人の性格
 まじめ 周りの刺激に敏感 孤立感がある 内向的性格
 緊張しやすい 自己中心的 幼い その他()
 ◎学習面

評価	国	社	数	理	英	音	美	保・体	技・家	その他
中1	2	2	1	1	2	2	2	3	3	
中2										
中3										

(具体的に)
 ◎人間関係
 話し相手がいる 仲の良い友だちがいる(○年○組 ○○ ○○) 集団に入ることができる その他(具体的に) 仲の良い友だちは、同じサッカー部に所属。
 ◎夢・願い、意欲等
 あこがれる仕事や人がある 好きな(やりたい)ことがある 得意なことがある 部活・クラブ(サッカー)
 (具体的に) サッカーは好きで、頑張りたい気持ちがある。
 ◎関わり
 担任 担任以外の教職員(不登校対策担当者) 教育支援センター職員 SC
 SSW 医療関係者 児童相談所員 市町村保健福祉部関係者
 保健所員 その他()
 関係機関の担当者・関わり具合
 ◎関係機関等からの情報(本人の情報)
 ◎小学校からの情報
 小学校6年生から生活習慣に乱れが生じて、3学期後半から欠席が続く時期があった。
 ◎趣味・興味関心のある事など ◎その他特記事項(気になる言動(自傷行為等))
 サッカー、ゲーム

保護者に対する見立て
 学校 保護者の子育てに対する意見が一致していない。母親が学校との窓口になっており、登校刺激を積極的にしていってほしいと見え、学校に協力的である。
 SC 保護者の足並みを揃えることが第一である。母親の登校刺激がプレッシャーになることもあることも母親に伝え、理解をしてもらう必要がある。
 SSW
 その他

本人に対する見立て
 学校 11月に入って遅刻・欠席が多くなり始めた。きっかけは、クラス内の人間関係づくりの不安から欠席が増えたが、家庭内での父親と母親の教育方針のズレなど家庭環境の要因も影響している。学校に来たときには、イライラする様子もある。
 SC 両親の教育方針のズレによる心身の不安定がみられる。保護者が話し合いの中から共通の意識で本人に接していく必要がある。
 SSW
 その他

プランニング
 長期 学校と専門家とが協力して、不登校の大きな要因と考えられる両親の教育方針のズレの解消を図るため、の対策を講じ、3年生から、現在の状態1から状態0になることを目指す。

	目標	取組	校内での役割分担	成果と課題
1学期				
2学期	放課後登校でもいいので、短時間でも学校に来ること。	学校全体での情報共有をしっかりと行い、別室登校を勧める。家庭の要因も大きいため、SSWからの支援も開始する。	担任:本人への関わり(1日1回の電話連絡など) 不登校対策担当者:SCとの窓口 SC:保護者への相談対応	(12/20ケース会議) ・短時間の登校は継続できており、別室登校も始めた。冬休みをさむので、休み明けの対応を慎重に行う必要がある。 ・父の離職が判明し、福祉的な対応も検討する必要がある。
3学期	支援を継続しつつ、できるだけ長時間学校に滞在できるようにすること。	別室登校を継続しつつ、教室復帰に向け、本人や保護者へ慎重な働きかけを行う。	担任:本人への関わり(面談・事務連絡等) 学年主任:別室使用計画作成 不登校対策担当者:SC・SSWとの窓口 SC:保護者への相談対応 SSW:家庭への福祉的な支援の検討	

【留意事項】
 ・ケース会議の基礎資料として活用するため、作成の対象はケース会議の対象となる児童生徒です。
 ・作成時に全ての情報を埋める必要はなく、埋められる部分を記入し、ケース会議などで新たに知り得た情報を随時追記します。
 ・本シートとは別に、日々の対応履歴を記録するようにします。
 ・小学校については、登校支援員等の関わりを記入する欄を別途設けています。